

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習II (岡井)		
教員名	岡井 宏文			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	<p>本演習では、グローバル化時代の「観光」と日本社会の関係について学んでいきます。 キーワードは、「観光を知り、地域を知り、世界と繋がる」です。 現在、世界の旅行者数は年間13億人以上、日本を訪れる外国人旅行者は年々増加し、年間3,000万人に迫ろうとしています。また、日本人の国内旅行者数は年間延べ6.4億人にのぼります。 人の移動は、経済効果や社会・文化的な交流を生み出します。そのため、「観光」は、地域を活性化する(「地方創生」)ための切り札とも見なされるようになっており、日本各地で、国内外の観光客を呼び込む試行錯誤が続けられています。 本演習では、このような現代の「観光」をめぐる様々な現象や取り組みへの理解を深め、そこにある課題を分析していきます。具体的には、「観光の多様化」(例えば、アニメ聖地巡礼、B級グルメ)、「地域振興」(例えば、まちづくり、地域の魅力の発見／創造／発信)、「異文化理解」(例えばイスラム教徒など新しい外国人観光客の増加に伴う宗教的・文化的な習慣の違いやニーズの理解、新しいおもてなし／ホスピタリティの構想)などといったテーマを読み解いていきます。これらのテーマに取り組むことで、同時に人口減少、外国人人口の増加などといった「観光」に隣接するテーマへの理解も深めます。 本課題演習の、具体的な進め方は次の通りです。</p>						
到達目標	<p>①自身の興味関心に基づき、文献を読み込み、批判的に検討する事が出来る。 ②自身の興味関心を、整理し、他者にそれを伝え、議論する事を通じて深化させていく姿勢の構築。 ③観光に関する資料収集・読解、知見の整理・発信、実地調査の技法を習得し、卒業研究に向けた基礎を構築する。</p>						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>前期:基本文献の講読、グループワーク／ディスカッションを中心に行います。グループワークでは、グループごとに関心のあるテーマを設定して、資料(書籍・論文・記事等)の収集や読み込み、プレゼンテーション、ディスカッションを行います。 後期:グループでの作業を継続するとともに、それをもとに各人が興味・関心のあるテーマを掘り下げていきます。具体的には、各人の興味・関心に基づく文献の講読、グループワーク・ディスカッション、論文執筆を実施する予定です。個人テーマによる論文を完成させることで、卒業研究の土台を作ります。 フィールドワーク:授業外の時間を利用して、観光に関連するフィールドワークを予定しています。 以上を通じて、「観光」への理解を深めるとともに、卒業論文執筆に向けた基礎的な能力(資料収集・読解、知見の整理・発信、実地調査の技法など)を養います。</p>						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	「観光概論」「地域と観光」を受講する/受講済みであることを推奨します。						
アセスメントポリシー及び評価方法	<p>授業・フィールドワークへの参加態度:出席状況、授業での発言、グループディスカッション・フィールドワークなどへの参加度・貢献度、課題の提出状況(50%)、授業での発表(30%)、期末課題:期末レポートの提出(20%) 以上から総合的に評価します。</p>						
教材	随時資料を提示します。						
参考図書	<p>遠藤英樹・橋本和也・神田浩治編著『現代観光学—ツーリズムから「いま」がみえる』新曜社,2019年。 大橋照一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブッケー新しい知的領野への旅立ち』ナカニシヤ出版,2014。 須藤廣・遠藤英樹『観光社会学2.0—拡がりゆくツーリズム研究』福村出版,2018。 岡本健編著『コンテンツツーリズム研究—情報社会の観光行動と地域振興』福村出版,2018年。 前田勇編著『新現代観光総論(第2版)』学文社,2018年。 阿良田麻里子編『文化を食べる文化を飲む』ドメス出版,2017年。 その他の参考図書については、受講者のテーマに応じる形で適宜提示します。</p>						
	前期は、課題文献(書籍・論文・記事等)の講読、グループワーク／ディスカッションを中心に行います。						

内容・スケジュール	後期は、各人の興味・関心を考慮した上でテーマを設定し、文献の講読、グループワーク・ディスカッションを実施する予定です。またこれに加え、授業外の時間等を利用して、「観光」に関連するフィールドワークを予定しています。これらを通じて、「観光」への理解を深めるとともに、卒業論文執筆に向けた基礎的な能力(資料収集・読解、知見の整理・発信、実地調査の技法など)を養います。
-----------	---

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II		
Name	岡井 宏文(Okai Hirofumi)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This seminar (Junior Specialty Seminar I) will facilitate an understanding of the relation between “tourism” in a globalized world and Japan. Mission statement of the course will be to “understand tourism and understand regional communities to connect with the world”. We will explore various phenomenon associated with “tourism” of today, and analyze problems that surround it. Some of the themes to be discussed are “diversification of tourism”, “Chiiki-shinkou”, and “intercultural understanding”. Through exploring such themes, students will also deepen their understanding on related matters such as the decreasing population and the increasing number of foreigners.</p> <p>The seminar will be organized in the following order.</p> <p>In the first semester, classes will focus on reading appropriate materials, group work, and discussion. In the second semester, the theme to be focused on will be chosen based on interests of students, and reading materials, group work, and discussion will be arranged accordingly. A fieldwork in relation to “tourism” will also be conducted. Through such approaches, students are expected to acquire a deep understanding of “tourism”, and basic skills (to collect resources and understanding them, organize preceding studies and conveying them, conducting field work, etc.) needed for writing one’s graduation thesis.</p>				